

2020年 7月10日
京成電鉄株式会社

より便利で快適な移動空間をご提供するために

「3100形」新造車両を導入します

営業運転開始(予定) 3154編成 7月11日(土)
3153編成 7月18日(土)

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、昨年10月に運行を開始した新形式車両「3100形」の新造車両8両2編成(3153編成・3154編成)の合計16両を導入します。

「3100形」は、京成グループ標準車両として「受け継ぐ伝統と新たな価値の創造」をコンセプトに設計したものです。外観デザインでは、成田スカイアクセスの案内カラーであるオレンジを取り入れているほか、飛行機や沿線各所のイメージイラストを車体に描いています。車内設備では、スーツケース置場としてもご利用いただけるよう座席の一部を折り畳み式としているほか、フリースペース、プラズマクラスターイオン発生装置、LCD(液晶)車内案内表示器、防犯カメラなどを設置し、快適で安全な車内環境を提供しています。

新造車両は、3154編成を7月11日(土)、3153編成を7月18日(土)にそれぞれ営業運転を開始する予定です。これにより、3100形は合計4編成となり、全て「アクセス特急」として運用します。



スーツケース置場



LCD(液晶)車内案内表示器・防犯カメラ

※ プラズマクラスターロゴ(図形) およびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。

以上